

内にあるも、
晴雲相半し
京に及全州
三十部の計
は、

浮草 (3)

入江新八

「浮草」の物語。入江新八の物語。...



「浮草」の物語。入江新八の物語。...

「浮草」の物語。入江新八の物語。...

「浮草」の物語。入江新八の物語。...

「浮草」の物語。入江新八の物語。...

「浮草」の物語。入江新八の物語。...

スビルカ. Advertisement for Sibilka featuring a bottle illustration and descriptive text.

黒髪. Advertisement for black hair products, including a circular logo and descriptive text.

良煉香油. Advertisement for refined oil products with descriptive text.

Table with multiple columns listing names and associated information, likely a directory or index.

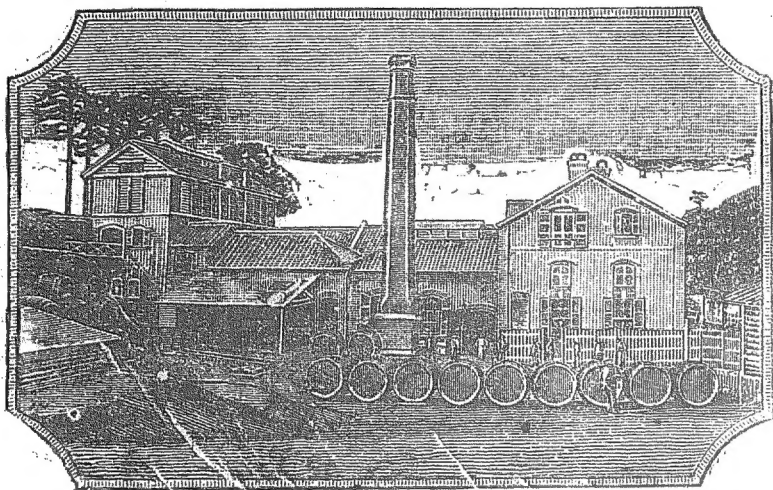
Table with multiple columns listing names and associated information, likely a directory or index.

Table with multiple columns listing names and associated information, likely a directory or index.

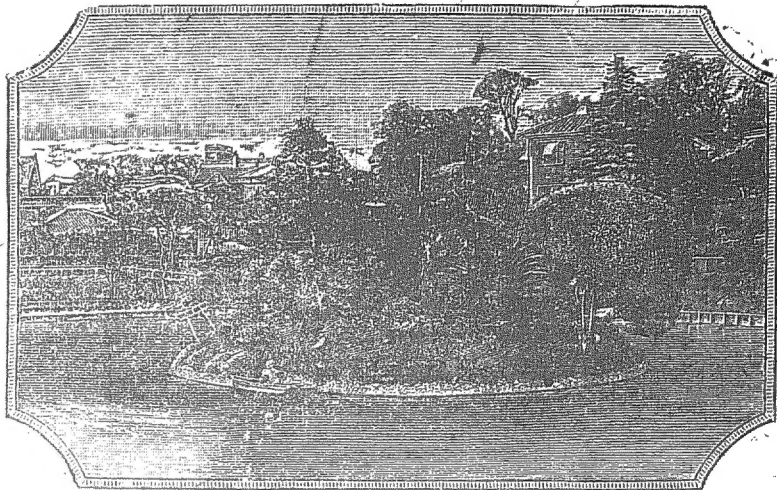
キリンビール

釀造五十年記念

明治十八年バヤン・アルコーン工場之景



横濱本工場庭園天沼之景

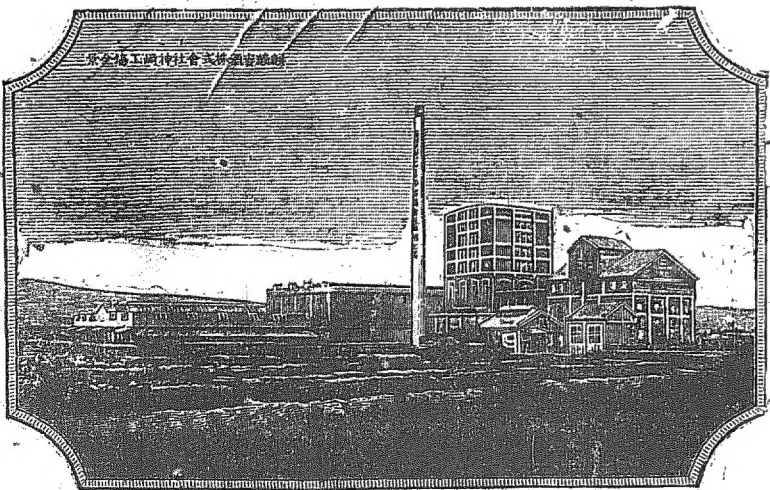


最古の歴史
最新の設備
最良の品質

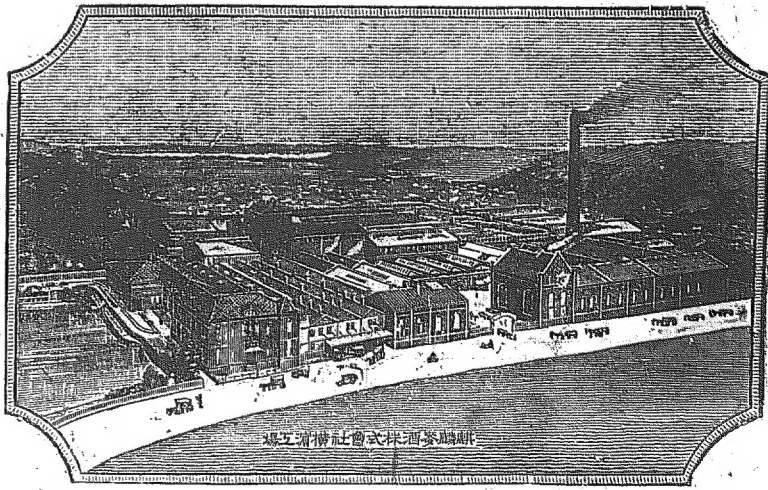
我麒麟麥酒は明治五年米國人コブランド氏が横濱山手天沼に於て「スプリング、ヴァレー、ブルアリー」の名稱の下に地心清冷の水を用ひて麥酒を醸造せしに濫觴し明治八年に至り當時京濱内外一流の實業家故伯爵後藤象次郎、故男爵岩崎彌之助、法學博士増島六一郎、子爵澁澤榮一、男爵益田孝、男爵大倉喜八郎、高田慎蔵及カールローデ、カーシュツド、ウオーカー、グラバー、バーナード、等の共同出資により金五萬圓を以て「ジャパンブルアリー、コンパニー」を設立し明治二十年明治屋を以て之れが發賣元と定め其後明治三十二年日本釀造株式會社と改稱し更に明治四十年故豊川良平、故男爵近藤廉平、故米井源治郎、故法學博士高木豐三、故瓜生震、故高田政久、今村繁三、田中常徳、磯野長藏、草野清四郎等十名發起の下に麒麟麥酒會社を設立して前記日本釀造株式會社の事業を繼承し以て今日に及び目下資本金五百萬圓に達せり、一方明治屋は最初磯野計個人の經營に係りしも後業務發展に伴ひて株式會社と改め終始一貫麒麟麥酒販賣の衝に當り居れり、創業の日より星霜茲に五十年實に本邦麥酒醸造業の鼻祖にして其純良なる品質は能く當時旺盛なりし外國麥酒の輸入を防遏し進んで海外へ輸出の途を開きたり而して本工場は依然發祥の地に在りて最新の設備を調へ尙ほ神崎に於て東洋無比の第二工場を有するに至りしは我等の最も欣幸とする處にして是偏に江湖各位多年御養顧の賜と只管感謝する所なり茲に麒麟麥酒創釀五十年を迎ふるに際し謹んで各位に敬意を表す

大正十年八月

麒麟麥酒株式會社
株式會社明治屋



現今神崎第二工場



現今横濱天沼本工場

鈴木商店
大東京區

積立金貳千九百五十萬圓
 京都府大通丁目九番地
 株式會社
 第一銀行
 支店
 頭取 佐々木勇之助
 支配人 藤森忠一郎

お髪に
ハンカチに
厭子に
一滴づつ

日生カール 本橋
東京 秋葉原 西井高麗

[illegible]

第六十七席

A black and white photograph of a man in a dark jacket and light shirt, holding a sword or staff, standing in a dramatic pose. The man is looking upwards and to the right, with a serious expression. The background is dark and textured, possibly a wall or a backdrop. The lighting is dramatic, highlighting the man's face and the details of his clothing. The overall style is reminiscent of a classic film or stage production.

り足細きとは違ふと思つた。一
向の御意をききました。木下若狭守
は、御に入りての鍔刀を腰に懸け
てゐるから、即座の色が車
で、若狭へ、已れ申す未練にも
幕府侍令に打負けた事を残念
に心得、愛へともなはず柳に散呼
はり致す、奴こそそなた殿の
聞者に、當家の様子を探ら
ん爲め、代々しき者に相違ない
ワッ、又三郎と云ふ者を捕得
れど、押さつた、依ながら、
り御の一聲、主人の命令であ
るから、居合したる人々を立
上る。若狭將監果して彼は敵國
よりして、當家の勳勤を窺ひに参
つて、聞取つたやういふ、浦水大
捕するや、其方へ甲附ける。息巻
荒く仰せられましたから、イ

キ其は然ではございませんニ
この儀事がなく、賜へなく將監
に於て其指圖を立て、期々ナ
／＼との者、殿の仰せなるデ
速かに浦水三郎を召捕られ、
シ此方、つて下知を致す。大勢

つたもの、御方がおられない
されたなら、家老様へ伺ひま
「何だ」と、只今のお言葉
追つてはならぬ御方の御
遊ばしました。將監うた、殿
仰せであるから早く取押へろ
○併し紙ばかり、願ひ出な
て参りました。夫、追つては
ぬ取押へろ。云ふのは無理な
沙汰、將分らねば、只答へ
し致すに及ばぬ。居ながらに

自軍車馬
山崎自軍車馬

て取押へろ。然んば無謀な計
があるから、其中に、其間に
去を逃けて出て来て、外邊の
へ来る。大勢の者が、追つて
くる。據るも、深へ飛び込
んだ。レリ深く飛込んだ、必
死の下へ上る。遂に下の方
方へ手配りをしよ。云ふの
時、將コレバ其方來、
自軍、將コレバ其方來、
納まる事をしてはならぬ。彼は

▲醫學博士田中友治氏創見
▲フミナインの完成と靈藥

[illegible]

自動車定期運輸

小坂井
平塚
山崎
江東
成川間
平塚
順川
新倉間
不遠北

名勝古蹟齊集隨時運轉

販賣部


國分下白鶴車會社自備
各種部品一切フルモーター
グランドリッチ、テュン
ヤール、オイルクリス他廠
朝日、東洋、大和町七番地

本南自動車商會

電話長五五番六〇六九
振替口座京城八九九三
博多取引所仲買人

京都府南長谷町三番地
（京城俱樂部通）
許辨理士 **岩田仙堂**

原質本



TUYOL

治淋新藥

元

元 總 經 理
 石 瀨 川 本 店
 町 九 段 大 街
 野 津 島 本 店

山 鹿 爲 精 比 奈 田 中 計 川 各 郎 士 監 製 實 驗 檢 定
 以 證 實 力 的 確 判 按 驗 著 副 作 用 絕 無

本 品 の 經 銷 價 値 は 隨 筆 獨 居 者 參 照
 每 瓶 五 十 錢 有 販 賣 五 百 五 十 錢 處 亦 隨 處